

学生が外国人に 英語で書道伝授 東洋学園大、都内旅館で

東洋学園大学は旅館の沢の屋(東京・台東)と連携し、宿泊している外国人に書道を教えて英会話を体験する実習を始めた。英語を話さざるをえない環境を設けて国際交流の挫折と喜びを体験してもらおう。沢の屋側は宿泊客に日本文化を紹介して満足度を高める利点がある。

「冷や汗・英語体験プログラム」と名付けて1、2日に学生を派遣したのに続き、16、17日にも行う。書道を伝えた14人の宿泊客全員から「たいへんすばらしい」という反響があったという。学生からは「言葉が十分に通じなくてもコミュニケーションを取れるのを実感した」といった声があった。同大はほかの旅館での実施も含めて体験プログラムを継続する考えだ。